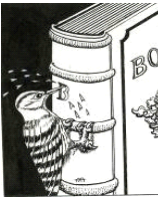


マークデザイン 加藤昌男



本の森 10月号

篠山市立中央図書館通信 No. 138 2016年 10月1日 発行

今月の特集

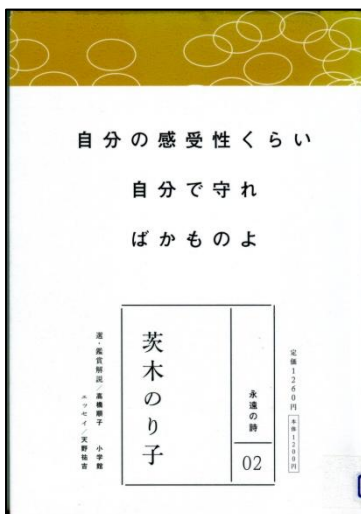


青く澄んだ空とさわやかな秋風の中、また、美しい月夜に、ふと、一人になって「自分」を見つめたくありませんか。

生きるとはどういうことなのか。まず、「ひとり」をきちんと生きて個を持ち、その上で一人ひとりの違いを認め合っていくことが大切ではないでしょうか。「ひとり」を生きていくヒントになる本を集めました。

「茨木のり子 自分の感受性くらい自分で守ればかものよ」

茨木 のり子 著 高橋 順子 選・鑑賞解説 小学館 911イ



詩は、心の奥の深い思いに届いていくことば。詩を読む喜びは、その深い思いを詩人が代わりに表現してくれ、共感できることだと思えます。茨木のり子さんの詩もそうですね。

「自分の感受性くらい」は、瑞々しい感受性を常に持ち、生きる下手さを人のせいにはしないことを教えてくれます。また、「汲む」という詩では、自分の「震える弱いアンテナ」を大事にしようとも。その優しさも心に響きます。戦中が思春期の真ただ中だった彼女の「わたしが一番きれいだったとき」は戦争を通り抜けた同世代の女性の心に ^{おもり} 錘を下し、生きることは何かという問いに答えを求め続けていっている詩です。

勇気と希望を持って凜と生きた人でした。愛する人に逝かれた後長い一人暮らしの中で、社会、人、個を書き続けた人でした。今年は没後10年、ぜひ、茨木のり子さんに出会っていただきたいです。評伝『清冽』(後藤正治著 911ゴ)もおすすめです。(細見)

小説の棚から



『子育てをうたう』

松村 由利子 著 福音館書店 911.16マ

日本文化を代表する定型詩が、テレビの影響もあり昨今注目を浴びています。五・七・五の十七音からなる俳句・川柳。三十一文字からなる短歌。大きな違いは、文字数と季語の有無です。川柳と短歌は季語を必要としません。いずれも、自分が感じたこと見たことをありのままに言葉にして伝える手法です。

本書は子育てを詠んだ短歌集です。「こどものとも年少版」の折り込みふろく（2011年4月から2014年3月）に連載されたものが、単行本化されました。『赤ちゃん』『育てる』『家族』『子どもの世界』『子どもとの日々』の5章からなり、その時々いつくの慈しみ育む様はぐくまが詠われ、それぞれの句を著者が解説しています。

“ 振り向かぬ子を見送れり

振り向いたときに振る手を用意しながら 俵 万智 ”

子育ての想いは、子どもがいくつになっても変わらないものなのかもしれません。秋の夜長、一句詠むのはいかがですか。（酒井）

『ひょうごの在来作物』

ひょうごの在来種保存会 編著
神戸新聞総合出版センター 626ヒ



一般書の棚から

農作業は、収穫し、種を採り、それを蒔いてまた収穫する、という流れで行われますが、今は種は店で買うのが主流です。種を採る作業は手間がかかることと、広く売られている「交配種」という人の手が加わってできた種は、育てやすく収穫物の見栄えも良いからだそうです。（ただ交配種の作物から種を採っても同じような作物は収穫できないので、そうすると毎年種を買う必要があります。）そうして在来種の栽培は、だんだんと減っていきました。

そんななか、兵庫県内の在来種保存を目的とした「ひょうごの在来種保存会」が、2003年に発足しました。本書では、その貴重な兵庫県の在来作物を1冊にまとめて紹介しています。篠山市のページでは、栗や黒大豆といったメジャーな作物のほかに、「郡家高菜」や「ドイツ瓜」といった、店ではあまり見かけない作物が掲載されています。（杉野）



■篠山市立中央図書館（篠山市西吹 88-1） TEL 079-590-1301 / FAX 079-594-5450

ホームページ <http://edu.city.sasayama.hyogo.jp/c-library/>

インフォメーション

中央図書館

「市民活動」をテーマにした秋期企画展を開催します

篠山市には、ボランティア団体、NPO法人、各種サークルなど、地域づくりに取り組む様々な市民団体・グループが活動されています。その活動を展示パネルなどで紹介します。

と き 10月1日(土)～30日(日)

(会期中の休館は、3(月)・11(火)・17(月)・24(月))

ところ 中央図書館 展示ホール

【展示団体】

- ・篠山市地球温暖化防止活動推進連絡会
- ・フラスタジオゆうこ
- ・笑顔つながるささやまステイ実行委員会
- ・ユニバーサル篠山チャレンジクラブ
- ・篠山将棋クラブ
- ・桶っと卓球推進育成プロジェクトチーム「道」
- ・NPO 法人里地里山問題研究所
- ・NPO 法人ママの働き方応援隊阪神西校 篠山学級
- ・篠山市俳句協会



広場

秋の深まりを感じる季節となりました。秋と言えば、実りの秋、芸術の秋、読書の秋、食欲の秋など思い浮かべる方も多いと思います。篠山を見ても、味まつりなど味覚を楽しめるイベントが日をかえて開催されます。また、丹波焼陶器まつりも、芸術に触れる絶好の機会です。いろいろと探して、澄みきった青空のもと秋を満喫しにお出かけしてみてください。

篠山市立中央図書館でも、上記インフォメーションのとおり企画展を開催しますので、是非お越しください。

中央図書館 井上 勝盛

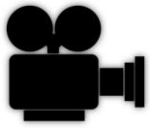
HIROBA

■篠山市民センター図書コーナー(篠山市黒岡 191) TEL 079-552-0394

開館時間 10:00～18:00(日曜日は 17:00 まで)

※職員は 12:00～15:00(土・日曜日は 13:00～15:00)の間、駐在





映画上映会のお知らせ



入場無料



「天と地」

1993年・アメリカ 141分・吹替え・字幕

■監督 オリバー ストーン

■出演 トミー リー ジョーンズ 他

■日時 10月14日(金) 14:00~16:20

10月15日(土) 15:00~17:20

■場所 中央図書館 視聴覚ホール

図書館カレンダー



日	月	火	水	木	金	土
						1 ←
2	3 休館日	4	5	6 読書スペース 開放(市民)	7	8
9	10 図書コーナー休館日 ・篠山だけ図書館の日	11 休館日	12	13 読書スペース 開放(市民)	14 映画上映会	15 映画上映会
16	17 休館日	18	19	20 読書スペース 開放(市民)	21	22
23 →	24 休館日	25	26	27 読書スペース 開放(市民)	28	29
30 →	31					

中央図書館秋期企画展 10/1~10/30「市民活動展」